

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名 市民活動支援のためのミニコミ資料室をつくる会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

『市民活動は元気のもと! 多摩のミニコミ 200 誌』(仮題)の作成準備と「ミニコミ広場」の運営・整備

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

市民活動から生み出された資料は、市民活動の経験として、また歴史資料として、市民活動の力量形成に資すると同時に、新しい社会を拓くための研究等、インターネットから得られる情報とはまた別の、計り知れない価値を持っています。都立多摩社会教育会館 30 年間市民活動資料を収集し公開してきましたが、資料室が廃止されたため、市民の手でそれらの資料を活かす場をつくる取り組みが始まりました。また新たに集めた資料を「ミニコミ広場」を開設し試行的公開を始め、現在書架9連のミニコミが集まっています。それらミニコミの紹介冊子をつくることにより、多くの人にその魅力を知らせ、同時にミニコミ資料室づくりのPRにしたいと思えます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- ①多摩地域で発行されているミニコミ紹介集『市民活動は元気のもと! 多摩のミニコミ 200 誌』(仮題) 発行に向けて、「ミニコミ広場」に収集されているが独立したファイルを作成するには至っていないミニコミの中から、新たに収集したいミニコミを抽出しました。
- ②①のミニコミ発行団体に送付依頼を行いました。
- ③新規に送付されたミニコミを分類・整理し、「ミニコミ広場」に配架し、毎週1回試行的な公開をしました。
- ④冊子作成に向けて、掲載するミニコミのリスト化に着手しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ①「ミニコミ広場」を毎週月曜日に必ず開くことをめざし、お盆休みと年末年始を除き、予定どおり休まず開室しました。
- ②新規ミニコミ収集に努力した結果、掲載目標 200 タイトルをほぼ達成しました。
- ③「ミニコミ広場」の整備により、収集したミニコミを効率よく分類・整理し、利用しやすいように配架できました。
- ④広くミニコミの意義と収集への理解を得るためパンフレットを集会などに持参し、できるだけ説明しながら配布しました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

活動が 6 年目に入り、収集→分類・整理→公開のサイクルが定着し、ボランティアの定期的な協力を得ることができるようになってきました。「ミニコミ広場」の家賃は大きな負担ですが、助成金のおかげで独立したスペースを維持し、試行的公開スペースとして整備することができ、分類別に見やすく整理・配架できているため、利用したい方が突然来室されても、容易に求めるミニコミを手にとりいただけています。また冊子に掲載するのに適当なミニコミもだいたい固まってきましたので、2009年度は早めに掲載データを確定し、印刷にこぎつけたいと思えます。ただ新規パンフレットやニュースの作成まで手が回らなかったことを反省しています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



ミニコミ広場ようこそ！



ミニコミファイルがいっぱい



この中にも冊子に掲載予定のミニコミがあります